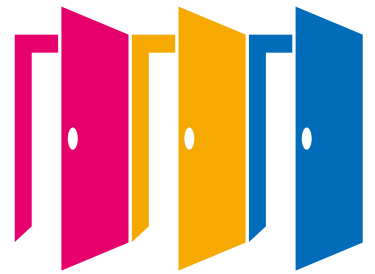


# KOCHI 2020 ROTARY 2021 CLUB SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3451回 2021年2月16日 2021年3月2日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。東ガバナーエレクトご夫妻、本日はようこそいらっしゃいました。長い間のオンラインでの国際協議会、本当にお疲れ様でございました。ごゆっくりお過ごしいただきませ。

三寒四温と申しますが、確実に季節の変化が感じられる時期になってまいりました。今週末は、また寒波がくるようですが、先日の日曜日の33会のゴルフは、半袖でもいいぐらいのぼかぼか陽気で、寒いのは私のスコアだけというような感じでした。

さて、変化といいますが、私は会長になって「ロータリーの友」に目を通すようにしていますが、その中に漫画があって、ロータリーの創成期の頃のことについて書かれています。後ほど野村会員から詳しくお話を伺いますが、ロータリーは、1905年2月23日に生まれますが、2年後の1907年、ポール・ハリスが自ら会長に立ち、今までの路線の転換を提唱します。一つは、ロータリーの親睦を世のため人のために生か

すこと、二つ目が、利己主義からの脱却、三番目が、シカゴのみならずロータリーの拡大です。

しかし、もともとのロータリー設立時の発想は、当時のシカゴが商業道徳が乱れている中、親しい者同士が肩を寄せ合って友情を深め、1業種1人という中で公正な取引をして、仲間内で仲良くやっという発想から始まっていますので、彼の意見はなかなか理解されず、結果、例会がつまらないと欠席者も出てきたりしました。そこで、当時の親睦委員長が親睦を取り戻すには童心に立ち返って歌を歌ったかどうかと考えると、歌い始めました。そんな工夫や努力があったので、例会の雰囲気や和み、崩れかけていた親睦も保たれたようです。

毎回何気なく歌っているロータリーソングですが、その起源や背景を知り、それが百数十年も引き継がれていることを考えると、感慨深いものがあります。

今月はロータリー創立の記念月でもあります。本日は、東ガバナーエレクトからのスピーチを頂戴した後、野村茂会員にロータリーの初期に因んだ卓話をお聞きし、勉強したいと思います。



### ■本日のプログラム [ 3月2日 ]

米山記念奨学生スピーチ  
高知県立大学 共同災害看護学 博士課程2年  
パウデル・スシラさん  
「ネパールの紹介と日本での生活」

会	長	中	村	裕	司
副	会	入	交	章	二
幹	事	関		雅	文
副	幹	中	澤	清	一
会	報	隅	田	和	稔
	責任				
	者				

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **来訪ロータリアン及びお客さま**

東 邦彦ガバナーエレクト (中村RC)  
東 典子様



● **ご挨拶** 東 邦彦ガバナーエレクト



皆さま、こんにちは。やっと、ガバナーエレクトになったという感じの東でございます。国際協議会が2月1日から11日まで行われ、私どもはフロリダ州オーランドに行く予定でしたが、ご存知のようにアメリカの状況が非常に悪くてオンラインになりました。

オンラインになったのはいいのですが、RIも初めてのオンラインの国際協議会で非常に戸惑ったようで、朝の11時から夜の11時からの2回のセッションが11日間も続きました。間に1日だけ休みがありましたが、日にちの感覚が分からなくなるし、ふらふらになり、夫婦喧嘩をしながら何とか終わることができました。

これから、私たちの年度が始まります。PETS、地区協等、現在の状況では通常の形での開催はできないとは思いますが、何とか前へ進んで行かなきゃいけません。どうか、皆さんにはお力添えをよろしくお願いしたいと思います。

◆ **委嘱状伝達**

山崎広一郎会員 (2021-2022年度 ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員長)



● **退会挨拶** 森木潤一郎会員



退会挨拶の前に一つお詫びをしておかないといけません。コロナの感染が始まり約1年たちますが、本院の規定で、集会並びに会食は一切駄目ということで、皆さまからは随分と響感をかかっていますが、誠に申し訳ございませんでした。

今から8年前、千頭会員の紹介で他県から高知へ戻ってまいりました。「森木は、一つだけ高知県のためにいいことをした」「いや、俺みたいな者がいきなり来て、何かいいことしたのかな」と思ったら高知県の人口が1人増えた。あっ、納得でございます、大変温かいお言葉をこの場でいただいたことを、今でもはっきり覚えています。8年間、皆さま方には大変お世話になり、ありがとうございました。

本会のますますのご発展と、会員の皆さま方のご活躍を祈念いたしまして、退会の挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。





## ● 国際ロータリー創立記念卓話 バスト会長 野村 茂 会員

RI 創立記念例会卓話  
(令和3年2月16日)

## 『初期ロータリーの歴史から学ぶこと』

今日はロータリー創立記念例会でございますが、このような場でお話をさせていただく機会をお与えくださいます。誠にありがとうございます。

中村会長、関幹事、中田プログラム委員長をはじめ、本日も出席の皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、ロータリークラブにとりまして、2月は特別な月でもあります。それはロータリー創立記念日が2月23日であることに基づいているからです。



それでは、早速『初期ロータリーの歴史から学ぶこと』というテーマでお話をさせていただきます。

ご記憶の会員もあるかと存じますが、この『初期ロータリーの歴史』についてお話をさせていただくのは、実は2度目です。第1回はちょうど2年前のRI創立記念夜間例会の卓話でした。

それでは、まず初めにその1905年2月23日はどういう日であったかということから話を始めたいと思います。

20世紀の初め、1905年2月23日木曜日のシカゴはとても寒い夜であったと書かれています。

シカゴのイリノイ街にあったマダム・ガリのレストランで二人の男性が食事をしていました。その二人とは弁護士のポール・ハリス、もう一人は彼の顧客でもあった石炭商のシルベスター・シールでした。

そこで、ポール・ハリスは長年抱いてきたある構想をシルベスター・シールに話しました。『シカゴにある今までの社交団体とは全く違った実業家のクラブを作りたいこと。』『会員同士がお互いのビジネスを伸ばせたらいい。』

シルベスター・シールはこの構想に賛同して、その後二人はディアボーン街ユニティビル711号室にある鉱山技師ガスターバス・ローアの事務所に行きました。

そこに集まったのは、先程のポール・ハリスとシルベスター・シールのほかに、鉱山技師のガスターバス・ローア、洋服屋のハイラム・ショーレーの4人です。そこで、ポール・ハリスは、『もしこの街で心からなんでも相談できる、また語り合える友人がいたらどんなにすばらしいだろう。そしてお互いに仲良くなって親類付き合いをして、互いに助け合う職業人のクラブを作りたい。』と話しました。そしてこの会合では『一人一業種で親睦を深める会を作る』ということが熱っぽく語り合われました。

クラブには実業人だけではなく、法律家、医師、宗教家と、あらゆる職業の人を集めることになりました。

ポール以外の残りの3人もこの話に賛同し、『一業一会員制の原則』をまず決めたとされています。まさしく『はじめに親睦ありき』でした。

そして、1905年3月9日、第2回目の会合はポール・ハリスの弁護士事務所で開催されました。第2回目の会合までに新たに2名の会員が入会しました。

印刷業のハリー・ラグルス、不動産業のウィリアム・ジェンセンです。このハリー・ラグルスは後々のロータリーに影響を与えるロータリーソングの生みの親とされています。

この時は職場を中心に例会を開こうということから『職場持ち回りの原則』を決めています。

1905年 2月23日  
第1回会合 ガスターバス・ローアの事務所

## (1) 出席メンバー

1. 弁護士 ポール・ハリス
2. 鉱山技師 ガスターバス・ローア
3. 洋服屋 ハイラム・ショーレー
4. 石炭商 シルベスター・シール

## (2) 決まった事

『一業一会員原則』

1905年 3月9日  
第2回会合 ポール・ハリスの事務所

## (1) 出席メンバー

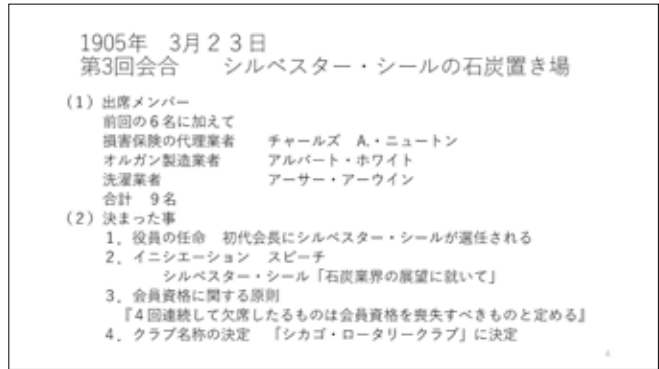
- 前回の4名に加えて
- 印刷業 ハリー・ラグルス
  - 不動産業 ウィリアム・ジェンセン
- 合計 6名

## (2) 決まった事

『職場持ち回りの原則』

そして、いよいよ1905年3月23日、第3回目の会合がシルベスター・シールの石炭置場で開かれました。参加人員9名。前回の会合から3名増えたことになります。

その3名とは保険業のチャールズA・ニュートン、オルガン製造業アルバート・ホワイト、洗濯業のアーサー・アーウィンです。これは余談ですが、その中の一人、チャールズA・ニュートンは損害保険の代理業者でありましたので、一業一会員制の原則によって、シカゴ・クラブに入会できなかった同業者がいました。名前はメルヴィン・ジョーンズといいます。ご存知の方も多いと思いますが、その人こそbusiness Circleというクラブに入会し、その後1917年ライオンズ国際協会を設立するに至った方です。そこで決まったことはと云いますと、



① 役員任命

初代会長シルベスター・シール、記録担当幹事ハイラム・ショーレー、そのほか通信担当幹事、会計などが選任されました。

② Initiation Speech

シルベスター・シールは、この日を記念して【石炭業界の展望に就いて】というスピーチをしています。これが、実は、ロータリーの慣例の中におけるInitiation Speech第1号であります。

③ 会員資格に関する原則

「4回連続して欠席したる者は自動的に会員資格を喪失すべきものと定む」という原則が、この会合の議事録に載っています。この原則は、ロータリー運動の創立総会の場で、既に原則化されていたわけです。

④ クラブ名称の決定

この3回の会合のいずれの日をもってロータリークラブ設立の日とするかについては諸説ございまして、最初に会合が開かれた日であるとか、規約が定められた日とか、法的にいくつかの解釈もあるようでございますが、RI理事会は1905年2月23日に開かれた会合を最初の会合と認めて、この日をロータリー創立の日と定めています。

第3回目の会合でクラブ役員任命、クラブ名称決定、会員資格に関する原則等が決定されておりますことから考えますと、法律的にはロータリークラブの成立は1905年3月23日に行われたこの第3回目の会合が適当であり、それ以前のもは設立準備委員会と考えてもいいという意見があることも付け加えておきます。

さて、このようにロータリーは始まり、会員の増強を図って、お互いに助け合いながら楽しく1年余の歳月が経過したのであります。それはまさに、親睦とお互いの助け合いだけの仲良しクラブでありました。

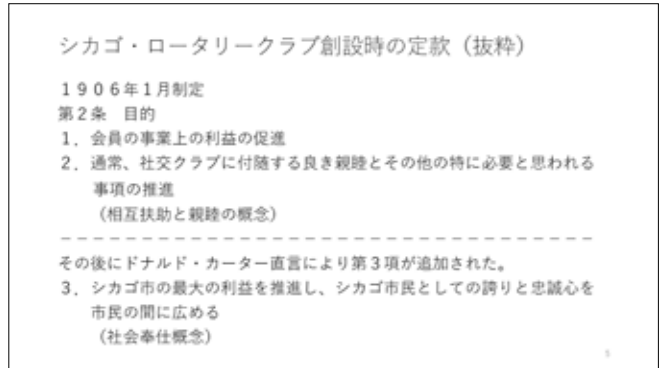
会員の事業上の利益の向上を図るために、会員同士の相互扶助が活性化され、やがて、それは積極的な[互恵取引]に発展していきます。

お互いの会員が、自分一人では掻くことのできない背中を掻き合おうという back scratching の世界です。当時のシカゴ・クラブのパンフレットには、会員相互の原価取引が原則であると明記されています。統計担当の役職 Statistician を設けて、前回の例会以降に会員間で行われた取引状況を記入することが義務づけられていました。

しかし、身勝手なことがいつまでも続く道理もなく、こうした行為に対する一般の人からの非難が高まり、ロータリアン自身からも批判が出始めてきました。

そして1906年4月に、ドナルド・カーターの事件が起こりました。それはどのような話かといいますと、先ずドナルド・カーターは、職業分類では日本流に言えば弁理士であります。アメリカ流に言えば特許専門の弁護士であります。その当時ある会員(フレデリック・ツイード)がドナルド・カーターにクラブへの入会を勧誘したところ、彼はクラブの互恵主義の説明を聞いて、『職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することが自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会に何もしない団体に将来性も魅力もない。』と言って、入会を断ったのであります。この入会拒否事件はシカゴ・クラブに少なからぬショックを与えました。

しかし、物質的互恵と親睦にのみ終始することに限界を感じ、次の段階へのステップアップを考えていたポール・ハリスは、この事件を絶好のチャンスと捉えて、直ちにロータリーの在り方を転換することを決断し、定款を改正することを条件にドナ





ルド・カーターに再考を促し、その後快く入会を了承したそうです。

どのような定款変更が行われたかと申しますと、先程ご紹介した定款第2条に新たに『第3項 シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める』という条文を追加したわけです。

このドナルド・カーターの忠告から出てくるポール・ハリスの反省が、ロータリーにおける奉仕概念の誕生の物語でありました。要するに、1906年以前にはロータリーに奉仕という考え方はありませんでした。ただ、職業人の淋しさ、心の渇きを癒すためにロータリークラブを作ったに過ぎなかったのであります。それは親睦と相互扶助の世界でありました。

したがって、1906年春に至って、ドナルド・カーターの外部的な刺激により、初めてロータリーの世界に『我らの親睦のエネルギーを世のため人のために』という奉仕の考え方が出てきたわけでありました。

しかし、当時のシカゴ・ロータリークラブには『クラブというものは、自分達だけの幸せを考えればよい。もともとそうであったし、これからもそうであるべきである』という強い信念を持った会員もたくさんいたといわれています。

最終的にはシカゴRCの管理権は奉仕派から親睦派に移ってしまいました。

そしてポール・ハリスやシェルドンなどの奉仕派は1910年に設立された全米ロータリークラブ連合会に居場所を移すことになりました。全米ロータリークラブ連合会はその後、1912年国際ロータリークラブ連合会、1922年国際ロータリー (RI) となって現在に至っています。

ところで、ちょうど同じころ1908年、ロータリー運動に重要な役割を果たしたアーサー・フレデリック・シェルドンがシカゴ・クラブに入会いたしました。

彼は、ロータリーに奉仕という概念を初めて提唱した人です。シェルドンの有名な言葉『He profits most who serves best (最もよく奉仕するもの最も多く報いられる)』は、皆様よくご存じのことと思いますが、このフレーズは実はロータリーのために作られたものではありません。

シェルドンはミシガン大学経営学部を卒業した経営哲学者(当時38歳)でありまして、この言葉は1902年に発行された

シェルドン・ビジネス・スクールの教科書に使われていたものです。すなわちシェルドンはロータリーのために奉仕理念を開発したのではなく、シェルドンが学校で教えていた経営学の理念をロータリーが借用していたことになります。

1908年にシカゴ・ロータリークラブに入会したシェルドンは、その考え方をロータリーに導入し、1911年に、当時のロータリークラブ連合会が、そのままロータリーの奉仕理念として採択し、さらにその考え方は職業奉仕となって現在に至っています。それでは、シェルドンの『He profits most who serves best』という言葉はそもそもどういふことをさして言ったのでしょうか。

シェルドンは『継続的な事業の発展を得るためには、顧客の満足度を最優先した事業経営を行うべきであり、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営むべきだと考えました。また利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だ』と考えたのです。

資本家が利益を独占する当時としては斬新な考え方です。ポール・ハリスの立場から見て、シェルドンの経営哲学の理論は、まさにロータリーの『職業を通じて社会に奉仕する』という理論と一致したわけです。

この職業奉仕につきましては、日本では日本独自の宗教感のもとで、進化(変化)しており、職業倫理に重きをおいた説明になる場合もあるようですが、シェルドンの唱えた職業奉仕理論とは、精神的な運動でも倫理的な運動でもなく、もともとは極めて実践的、実利的なものであったということをご理解いただきたいと思います。

さて、ポール・ハリスやシェルドンによって、伝統的な理論が確立される中であって、1910年以降、ロータリーには、また別のある種の動きがありました。

ロータリアンの心に[奉仕の心を形成]することがロータリー運動の本質だとする理論派VS[奉仕活動の実践]こそロータリアンの使命だとする実践派との論争です。その動きとは具体的にいいますと、エリリア・ロータリークラブのエドガー・アレンに代表される身体障害児対策に積極的に取り組むことでした。

### シェルドンの『奉仕理念』

・1908年 アーサーフレデリック・シェルドン シカゴRC入会

・1911年 シェルドンが唱えた『He profits most who serves best』(最もよく奉仕するもの最も多く報いられる)は、当時のロータリークラブ連合会によって、そのままロータリーの奉仕理念として採択され、その考え方は1927年に職業奉仕となって現在に至る。

この標語は2010年の規定審議会で『One profits most who serves best』に改定された。

### 決議23-34号

・1923年 セントルイス国際大会で『決議23-34号』採択

・1915年～1923年の奉仕活動の実践をめぐる論争  
ロータリーの活動は「職業奉仕の理念に基づいた職業奉仕活動」とする一派と「世の中に不幸な人がいるかぎりそれを救済するのが先決である」という社会奉仕活動に重点を置く一派の論争

・職業奉仕理念をロータリー哲学におくことを前提としながら、一定の枠を設けてクラブの奉仕活動を認めるということで、ロータリーの分裂を回避した。

議論の中心は多額の金銭的支出を伴うクラブによる団体奉仕を、ロータリーの奉仕として認めるか否かでしたが、個人奉仕と団体奉仕、さらには、金銭的奉仕の是非にまで話が広がったということです。

そして最終的な落としどころとして、1923年、セントルイスの国際大会においてロータリーの決議23-34号が採択されるに至るのであります。

ロータリー運動全般にわたって、奉仕の実践をめぐる、個人奉仕か団体奉仕かに対する長い間の論争に終止符を打つものであると同時に、RIとクラブとロータリアンの機能を明確にし、ロータリアンとクラブが行うロータリーの諸活動に対する根源的な指針となるものです。細かなことはここでは省略させていただきますが、その第1項にはこう書かれています。「ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」(Service above self)の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(He profits most who serves best)という実践理論の原則に基づくものである。

以上のように、決議23-34号は、非常に広い範囲でロータリーの原理原則を定めています。

個人奉仕か団体奉仕かというこの相異なる二つの考え方を、ロータリーの寛容の精神の下で調和するためにできたものが、この1923年に採択された有名な決議23-34号となります。これを読むことなしにロータリーを語ることは出来ないともいわれています。

そしてロータリーは4年間沈思黙考した結果、1927年、国際ロータリー理事会によって四大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)の概念を開発するに至るのであります。ロータリー設立後22年経ってからのことであります。また、皆様よくご存じの「四つのテスト」はそれから5年後の1932年にできたものです。

ということで、1905年から1932年までの初期ロータリーについてお話をさせていただきました。この期間は、ロータリーが創立以来、諸々の原理開発を終えて原理探求のロータリーから実践のロータリーへ入っていくまでの期間だからであります。また、それはロータリーの倫理運動としての爛熟期ともいえる時期であります。

お聞きいただきましたように、優れた先達たちがその時々で『親睦』か『奉仕』、更に一步進んで「職業奉仕か」か「社会奉仕か」との間(はざま)で『ロータリーはいかにあるべきか』を真剣に議論してきたことがお分かりいただけるかと思えます。

ここまで初期ロータリーの歴史についてお話をさせていただきましたが、ここからが、今日の本題でございます。

今のRI(国際ロータリー)についての話を交えながら、少し話をさせていただきます。

会員の皆様もご承知の様に、ここ数年前よりRIは規定審議会で次々と定款、細則の変更を打ち出してきています。革新性、柔軟性を重視して、会員増強、寄付促進、奉仕プロジェクトの充実、公共イメージ向上等を強調するようになってきています。

一方で、親睦を基盤としたクラブ奉仕や自己研鑽、さらに職業奉仕を主体としたロータリーの伝統的な考え方がやや薄れつつあり、古くから在籍しておられる会員の皆様方にはやや戸惑われているような感があります。これにつきまして、篠原ガバナーは地区運営方針のなかで「昨今の情報化等を主体とした世界の激しい社会構造の変化の中で、私はRIや世界のロータリアンの考え方の変化、方向性は今後共、もう元に戻ることはなく、将来今より更なる革新的な変化が起こる可能性があると考えております。」と述べられています。

また、「ロータリー活動の原点である各クラブ、ロータリアンの自主性、独自性は最大限尊重されるべきであり、日本のロータリークラブの伝統的な考え方、地区運営のやり方等、伝統と継続性も非常に大事だと考えております。」とも話されています。

現在、世界中のロータリアンの数は大体120万人といわれていますが、今から100年前の1920年ころは10万人くらいではなかったかと思えます。その当時からいうと、RIの担う目標も大きく変わってきており、国際的な奉仕団体として、「ポリオの撲滅」「平和フェローの育成」など、世界平和に向けての役割を担うなど、全世界にむけて存在感をアピールするようになってきます。RIとしては、世界奉仕団体としての役割を果たすことに重点を置いた施策がとられておりまして、今後さらに加速されるものと思われます。このことはとても大事なことでございますが、一方で我々地区のロータリアンとRIとの距離がかなり大きくなってきており、RIが今どのような方向に向かっているのかよくわからないと思うことが多くなっています。例えば会員増強を

#### その後の動き

- 1927年 国際ロータリー理事会によって四大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)が制定された。⇒現在はこれらに青少年奉仕が加わって五大奉仕となっている。
- 1932年 「四つのテスト」が制定された。

目的とする例会出席の緩和措置などです。また『職業奉仕』という言葉はもはや死語になったとさえ言われています。我々としては今のRI を正しく理解し、その距離を埋めていく努力をする必要があると思っています。

そして今後、我々地区のロータリアンは今後どのようにあるべきでしょうか。皆様方がロータリークラブに何を求めるかによってそのあるべき姿は変わってまいります。100人いれば100通りのロータリー観がありますように、それは皆様方の自由なお考えに基づくものでなければなりません。ただ、一つ言えますことは、職業奉仕にしろ、社会奉仕にしろ、それを成しえるためには、毎週の例会へ出席し、その場での会員相互の親睦がとても大事だということでもあります。そしてそこでの自己研鑽と情報共有から得られた知識を奉仕の実践に結びつけていくことが必要と思っています。

最近ではほとんど聞かれなくなってきましたが『入りて学び、出でて奉仕せよ』(Enter to learn, Go forth to serve)という言葉があります。ロータリー運動の実体を表す言葉として、私が大事にしている言葉です。

最後になりますが、「1910年に発表されたロータリー理論の中でポール・ハリスは、『ロータリーは、親睦と奉仕との調和の中に宿る』と説いています。

「ロータリーとは、寛容である。親睦も大切だが、奉仕も大切。奉仕も大切だが、親睦も大切。寛容な心を持つこと。自分の考え方を人に押しつけてはならない。このような思考の世界の中にロータリーはある。」と語っています。

高知ロータリークラブは居心地がよいと言われております。それはこの『寛容』の精神が伝統的に根付いているからかも知れません。このことを大事にしていきたいと思っています。

コロナ禍で毎日大変ご苦労をされていると存じますが、一日でも早く、お互いマスクをとってFACE TO FACEで向き合うことができる日が来ることを心からお祈りいたしまして卓話を終わらせていただきます。

## ● 幹事報告

- ・ 来週2月23日は天皇誕生日で休会。3月2日の例会からは、通常例会（円卓、仕切り板設置、マスク着用、食事あり）に戻ります。
- ・ 地区大会に関しまして、パストガバナー、会長、会員増強委員長、クラブ研修リーダー、幹事の5名のみ参加。5月14日のゴルフ大会は全員参加可能。参加希望締切は3月15日。
- ・ 忘年夜間例会が中止となったため、お渡しできなかったクリスマスプレゼントを本日お弁当と一緒に持ち帰りください。



## 3月のお祝い

(会員誕生日)	松岡 宣明	野村 茂	千頭 邦夫	宮地 貴嗣	
	眞田 直也	川崎 敦子	上野 里美	各会員	
(配偶者誕生日)	三谷 佐知	安光紀保子	尾崎真由美	和泉 圭子	各会員配偶者
(結婚記念日)	宮地 貴嗣	西山 俊彦	尾崎 典之	久場 幸信	
	津野眞千子	久松 朋水	林 広行	各会員	



### ◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	3月 4日	職場例会(城)	高知ロイヤルRC	3月16日	定款8条第1節による休会(旭)
高知東RC	3月17日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	3月18日	ロータリー休日(城)
高知北RC	3月22日	花見例会(三)	高知RC	3月23日	ロータリー休日(三)
高知南RC	3月25日	花見例会(阪)	高知中央RC	3月25日	花見夜間例会(城)
高知北RC	3月29日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月30日	ロータリー休日(旭)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### ニコニコ箱

- 東 邦彦ガバナーエレクト(中村RC) これからスタートです。よろしくお願ひいたします。
- 森木潤一郎 8年間、大変お世話になりました。
- 森本 征彦 東ガバナーエレクト、ご来訪心から歓迎申し上げます。コロナによりご苦勞されていると存じますが、高知クラブの支援、全員でご協力申し上げますのでご安心ください。
- 千頭 邦夫 昨晚のNHKテレビ番組「ファミリーヒストリー」で広末涼子さんの家族史が放送されました。デビューのころに広末幸彦会員がテレカを配りまくっていたのを思い出し、懐かしく拝見しました。数億円に相当する宣伝広告になったはずですので、最近欠席ばかりで不届きな広末君に代わってニコニコします。
- 紫藤 秀久 妻の誕生日にお花の手配ありがとうございました。1年ぶりに感謝されました。
- 杉本芙美子 夫・延一(しんいち)の誕生日のお花の手配ありがとうございました。オレンジのチューリップ30本に家の中が明るくなりました。
- 西山 彰一 39回目の結婚記念日のお祝いを頂きありがとうございました。

### ◎ 33会 例会を開催いたしました



2月14日バレンタインデーに第374回33会が晴天の土佐CCで開催されました。



今回デビューの和泉会員森本(道)会員に挑戦できる飛距離の持主です。



今回の優勝は安定したプレイの森田会員でした。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
2月16日	(-9)88	59	19	1	76%
2月 2日	(-11)88	57	13	7	83%

### ● 累計額 [2月16日現在]

ニコニコ箱	533,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	120,055円	ポリオ募金	168,000円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

### ■ 次週のプログラム [3月9日]

ゲストスピーチ  
 (株)岡村文具 森本 悟史氏  
 「業務効率を落とさない  
 テレワーク環境構築方法」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>